

寅さん歩 その26

東京の主要道路の起点～終点

玉川通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」と歩いてきました。

今回は「玉川通り」を歩きます。玉川通りは青山通りの終点の渋谷区JR渋谷駅東口交差点を起点に、世田谷区玉川一丁目の二子橋に至る延長約9kmの道です。写真右上は玉川通りの道路名標識（国道246号線）です。国道246号線は東京都千代田区三宅坂交差点を起点に、多摩川を渡り、神奈川県県央地域を経て静岡県沼津市に至る幹線道路です。玉川通りの玉川とは1889年（明治22年）8村が合併して成立した玉川村に由来するとのことです。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時の写真もあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[渋谷駅東口交差点]

渋谷区桜丘町

最寄駅 JR 渋谷駅



写真上左は国道 246 号線の青山通りから玉川通りへの引継ぎ場所で、標識は渋谷警察署側面の壁の前がありました。六本木通り（都道 412 号線）もここが起点で、西麻布方面へ向かいます。この先が J R 渋谷駅東口交差点（写真上右）で明治通り（都道 305 号線）と交差します。左へ行くと恵比寿方面、右へ行くと新宿方面です。玉川通りは東急東横線・J R 線のガードをくぐり（写真下左）直進（写真下右）します。



[神泉町交差点] 渋谷区神泉町 最寄駅 京王井の頭線 神泉駅

玉川通りは道玄坂上で右から来る道玄坂と合流します。その先の神泉町交差点（写真下右）で旧山手通り（都道 317 号線）と交差します。旧山手通りはこの先の松濤二丁目で山手通りと合流します。玉川通りの上は高速道路渋谷線で、用賀一丁目交差点まで上を通っています。神泉の地名は江戸時代に空鉢仙人がここの水で不老長寿の薬を作ったため、「神泉」と呼ばれるようになったとのことです。



神泉町交差点から目黒区に入ります。山手通り本線は下を通っています。（写真下左）山手通り（都道 317 号線）からの支線と玉川通り（国道 246 号線）の交差するのが大橋交差点です。



[大橋交差点] 目黒区大橋一丁目

最寄駅 東急田園都市線 池尻大橋駅

写真下左は大橋交差点です。左側から山手通りの支線が来ます。



[目黒氷川神社] 目黒区大橋二丁目

最寄駅 東急田園都市線 池尻大橋駅

大橋交差点の右側に「目黒氷川神社」があります。写真下左の石段を上がると社殿（写真下右）があります。目黒氷川神社は天正年間(1571～1792年)に当地の旧家 加藤氏が甲斐国上野原の産土神をこの地に迎えたといわれています。1878年(明治11年)上目黒の浅間神社(目黒元富士)を当地に遷座、1912年(明治45年)には北野神社を合祀したといわれています。1977年(昭和52年)には境内に登山道を設けて「目黒富士」としています。

詳しくは寅さん歩 28 東京の富士塚めぐりー5 目黒区および寅さん歩 138 江戸・東京(23区)の百名山ー8 目黒富士をご覧ください。



【目黒天空庭園】 目黒区大橋一丁目

最寄駅 東急田園都市線 池尻大橋駅

大橋交差点の左側には「目黒天空庭園」（写真下左）があります。2013年（平成25年）3月首都高速道路大橋ジャンクションの屋上を緑化・造成した屋上庭園（写真下右）で目黒区立公園になっています。無料で公園に上がれます。



【大橋】 目黒区大橋一丁目 最寄駅 東急田園都市線 池尻大橋駅

前方に橋（写真下左）が見えました。名を見ると「大橋」と書かれて下は目黒川（写真下右）が流れています。目黒川は世田谷区を上流に品川区東品川で東京湾に注いでいます。1995年（平成7年）3月から東京都は清流復活事業を実施して清流が復活しました。川の両サイドは桜並木です



[池尻稲荷神社] 世田谷区池尻二丁目

最寄駅 東急田園都市線 池尻大橋駅

「池尻稲荷神社」は玉川通りに面した左側にあります。明暦年間(1635～1657年)創建の古社で火伏せの稲荷、子育て稲荷として住民の信仰を受けてきました。境内には「薬水の井戸」があり、大山道の旅人は水を求めて立ち寄ったと伝わります。



[三宿 (みしゆく) 交差点] 世田谷区三宿一丁目

最寄駅 東急田園都市線 池尻大橋駅

三宿交差点(写真下左)で都道420号線と交差します。左へ行くと下馬方面、右へ行くと代沢方面です。玉川通りは直進します。この辺りは幕末の頃まで池があり、「水の宿る池」が転じて「三宿」の地名になったともいわれます。また本宿、北宿、南宿の三つの字があったことから「三宿」の地名になったという通説もあります。



[昭和女子大学世田谷キャンパス] 世田谷区太子堂一丁目

最寄駅 東急田園都市線 三軒茶屋駅

左側に「昭和女子大世田谷キャンパス」があります。昭和女子大学は1920年（大正9年）詩人の人見圓吉（ペンネーム 人見東明）が社会に対して開かれた女性の確立を目指し、文京区に前身の日本女子高等学院を創立、1945年（昭和20年）世田谷に移転、1949年（昭和24年）大学を設置しました。

昭和女子大学の光葉博物館を訪問しています。寅さん歩 421 東京の博物館めぐり-54をご覧ください。



[三軒茶屋交差点] 世田谷区太子堂一丁目

最寄駅 東急田園都市線 三軒茶屋駅

三軒茶屋交差点（写真下左）の右は世田谷通り（都道3号線）の起点で、狛江市方面に向かいます。「三軒茶屋」の地名は江戸の中期以降、社寺詣ブームで賑わった三軒茶屋交差点付近は大山道と登戸道の分岐（追分）で三軒の茶屋が並んでいたことに由来します。



今回はここまでとし、三軒茶屋で一息入れます。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約 600 里 (約 2400 km) の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川 (現在の江東区深川) を出発、2022 年 1 月 13 日 中村 (現在の新潟県村上市北中) (江戸深川から 1270 km) を通過して村上に向かっていきます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝

